

もっと清水が好きになる。

しみずの風

2018

10

No.540

特集

地域と取り組む JAしみずの協同活動



おいしいをつくりましょ。

JALしみず

Growing Face

— いま、清水で輝いている人たち —

遠藤 亘 さん
(87)

折戸なす農家

「折戸なす」復活の立役者 安定生産を目指し日々奮闘

折戸なす復活から13年。歴史と伝統を後世に残すために、努力は惜しまない。

徳川家康に献上していたという記録が残る「折戸なす」。初夢に見ると縁起がいいとされる「一富士、二鷹、三茄子」のことわざのナスが「折戸なす」ともいわれている。

明治以降、栽培が途絶えていたが、2005年に国の研究機関から種子を譲り受け、生産者とJA、関係者が一丸となり、復活することに成功した。遠藤亘さんは、折戸なす復活に尽力した生産者グループ「JAしみず折戸なす研究会」の一員として精力的に栽培に取り組んでいる。

当時、生産者が譲り受けた種はわずか100粒。希少な種をもとに、栽培や管理の方法を模索した。原種に近い形、形も不揃いになりがち。「トゲが鋭くて苦労したよ」と振



えんどう わたる / 約30aの園地で折戸なすを中心にキャベツ、ブロッコリーなどを栽培する。



表紙:「由比地域の協同活動でそば畑の草刈りなどに汗を流した地区役員やJA職員」
タイトル文字:クリエイティブ書家 岩科蓮花

CONTENTS

- 2 Glowing Face
遠藤 亘さん
- 4 特集/
地域と取り組むJAしみずの協同活動
- 8 TOPICS
- 10 育ててみよう!家庭菜園
[葉ダイコンを育てる]
- 12 11月の営農ワンポイント
- 15 カラダにうれしい旬レシピ♪
[しいたけパスタ]
- 16 ともに拓こう~協同が輝く時代~
農林大学校の生徒
- 17 組合員アンケートのお願い
- 18 Information
- 20 ワンパクしみずっ子
[若竹幼稚園(清水区蜂ヶ谷)]



しみずの風の
記事の一部を
Web 動画で配信中!!



スマートフォン、タブレット、
パソコンから記事の一部が
動画でご覧になれます。



■「折戸なす推進協議会」を設立し、折戸なすのブランド化が加速

り返る。収穫する際、手に刺さらな
いよう注意するのはもちろんのこ
と、ナスに傷がつかないように慎重に
作業しなければならぬ。研究会で
試行錯誤を重ね、自家採種や系統選
抜を行い、2〜3年目頃からトゲ
が少なく、形の良いものが採れるよ
うになってきた。出荷最盛期を迎え
る6月には、徳川家康を祭る静岡市
駿河区の久能山東照宮で、豊作を祈
念して折戸なすを奉納している。
折戸なすが復活して13年目。今で
は、研究会には8人が所属し、年間
約10tを生産するまでになった。評
判は年々広がっており、2015年
からは、研究会員をはじめ、JAや
行政、小売業者など6団体が「折戸
なす推進協議会」を設立。イオンブ
ループの県内スーパーマーケット



■毎年久能山東照宮に折戸なすを奉納し、豊作を祈願する

で販売が始まり、ブランド化がさら
に加速した。
しかし、まだ課題も多い。「収量は
一般のナスの半分、もしくはもっと



■丸い形状が特徴で、握りこぶしほどの
大きさと収穫する

少ない」という。そのため、一般のな
すよりも少し値が高いが、「味が凝
縮されていて、値段に負けない自信
がある」と力を込める。
今後の課題は「歴史と伝統のある
折戸なすを後世に残すために後継
者を増やしたい」と語っていたが、
前向きに農業に取り組む力強い姿
からは、産地の未来に不安は感じな
い。



地域と 取り組む JAしみずの 協同活動

JAしみずは「協同組合」として、地域の美化活動や食農教育、JAの支店が拠点となって行う地域農業祭など、組合員や地域住民の皆さまと一緒にさまざまな地域貢献活動に取り組んでいます。今回は「仲間づくり」の場でもある「1地域1協同活動」の取り組みを中心に紹介します。

地域に愛されるJAへ

地域に貢献できるJAになるために、最も身近にあるJA各支店を拠点に組合員や地域の皆さまと協力しながら、協同活動をテーマに取り組んでいます。

もに手を取り、愛着のある地域で「今」できることを自ら考えて実行しています。

生産者やJA営農担当者が、地元の食や農の大切さを子どもたちに伝える、学校や畑での出前授業。畑やプランターなどで実際に農産物を栽培する農業体験活動。青壮年部員や女性部員、JA職員などが協力して行う地域農業祭。興津川や三保海岸の清掃など、地域貢献活動に取り組んでいます。

当JAでは、この活動を「1地域1協同活動」と呼んでいます。さまざまな活動を通じて、組合員・地域住民の皆さまに農業のこと、地域のこと、JAのことにさらに感心を持っていただき、地域に愛されるJAになるために一歩一歩着実に実践しています。

「今、私たちは何をやるべきか。何ができるのか」。活動の主人公である組合員とJA職員がと

小島支店のATM前では1地域1協同活動の取り組みをパネル展示して利用者に紹介。





JAしみずの
さまざまな取り組みは
Web動画でも
ご覧いただけます。

食農教育活動

一般的な食育活動に加えて、地元の子どもたちを中心に自然や農業活動などを体験してもらうことで、食と農には目に見えない強い繋がりがあることを伝え、その役割や大切さを次世代につなげるための活動です。



JAが協力する蒲原東小学校での田植えでは子どもたちは泥んこに。

遊休農地を利用して支店の全職員、地域役員、女性部で協力しながら枝豆やサツマイモを作っています。女性部では大豆を収穫し手作り豆腐作りも予定しています。



高部地域 運営委員長
伊藤 勝志さん



高部支店職員は近くの遊休農地で草取りやサツマイモの植え付けに汗を流し「農」に触れている。



JA職員が先生になってお茶の魅力を伝える庵原小学校の「お茶クラブ」。



小島支店 貯金窓口
織田 遥香さん

梅農家さんのサポートで梅干し、梅ジュースなどを支店職員でつくりました。農家さんが毎年開いている小学校での梅講座に支店職員が参加するなど、組合員さんや地域の方々とのつながりを大切にしています。



小島支店ではJA職員が力を合わせた梅ジュース作り。



飯田東小学校でバケツ稲の栽培。組合員が中心となってサポート。

地元農家さんの協力のもと、ダイコンを栽培しています。11月のダイコンの品評会に出展予定です。農家さんの知恵を借り、良いものが収穫できるよう支店職員一丸となって頑張っています。



袖師支店 LA
山下 剛司さん



ベテラン農家のサポートで、袖師支店職員は品評会用のダイコン栽培に挑戦。



農業の大変さを実感しようと、JA新入職員は青島ミカンの摘果作業に奮闘。

毎年20,000人以上が来場するアグリフェスタみず。楽しい企画が盛りだくさん。



両河内地域 運営委員長
両河内地域農業振興
協議会 会長
清水 稔さん



両河内収穫祭

大勢の来場者でにぎわう両河内収穫祭などで使用するダイコン播種を8月下旬に行いました。収穫祭を通じ支店と協力しながら両河内の魅力や特産物をPRします。

地域農業祭

地元生産者・JA職員などが、地域の皆さまに地元農業や旬の農産物、手作り加工品の販売を通じて、地域・JAの魅力を知ってもらおうと、多くの支店で農業祭を定期的に開催しています。



有度農業祭



興津の朝市

地域貢献活動

JA職員は、環境保全活動をはじめ、組合員・地域住民・行政等と連携し、住みやすい豊かな地域社会を目指して、さまざまな活動を行っています。



JA職員が興津川保全市民会議と静岡市共催の「興津川クリーン作戦」に参加。



右
きれいな観光地を保つために三保真崎海岸の清掃活動にJA職員が参加。

左
清水区内のこども園や保育園、幼稚園の職員を対象に野菜栽培講習会を開催。





JALしみずの
さまざまな取り組みは
Web動画でも
ご覧いただけます。



由比地域 運営委員長
深澤 傳さん

「地域一協同活動のひとつ、そ
ば栽培は今年で4年目です(表紙
写真)。JA職員や地区役員と協
力しながら汗を流すことで、
年々繋がりが強くなっています。
今後は落花生を育てたいと思っ
ています。」

地域住民との
交流を深める
由比支店では
輪投げ大会も
開催。



普段は見ることができない柑橘
共選場を一般公開。

今後の主な地域農業祭

11/3 高部農業祭 JALしみず高部支店
今年5周年。野菜などの販売や生活衣料品の展示即売、地
元太鼓や餅まきなど。

11/10 有度地域農業祭 JALしみず有度支店
新鮮野菜の販売をはじめ、花木の販売、お茶の試飲販売、
JA女性部のおでんやもちつきも人気。

11/10 蒲原支店農業祭 JALしみず蒲原支店
旬の地元農産物の即売会や手作りみそや梅干しなどの加
工品販売のほか、薩埵太鼓、葉子投げなどを実施。

11/10 興津支店農業祭 JALしみず興津支店
旬の野菜や果物はもちろん、興津地域で栽培が盛んな洋花
類の販売が人気。生活購買品などの販売もあり。

11/11 由比支店農業祭 JALしみず由比支店
薩埵太鼓やフラダンスショー、大抽選会が特徴。地元農産物の即
売会、飲料・お米・ガス器具、やきいも、綿菓子などの販売が人気。

12/1 両河内収穫祭 JALしみず両河内支店
お茶やワサビ、野菜などの地元農産物販売のほか、地域農
産物振興のために野菜品評会も開催。

2/23 ミカンまつり JALしみず小島支店
「青島ミカン」や「はるみ」、「寿太郎ミカン」など、旬の柑橘類の
販売をメインに、野菜類や加工品、日用品雑貨、JA女性部
の豚汁無料サービスなども実施。



定期的に開く清水支店の野菜直売会。
今年は10/15(月)、12/14(金)に開催。



みなさまの
ご意見を
お聞かせ
ください



組合員のみなさまの願いや思いを受け止める
ため、また地域と共に歩むJAであるために、
みなさまのご意見をお聞かせください。
お忙しいとは存じますが、ご理解ご協力のほ
ど、宜しくお願いします。

●詳細につきましては、17ページをご覧ください。

JAしみずが、各地域の活動やイベントなど、さまざまな話題を独自に取材し、ご紹介いたします。

CWOがパフォーマンス、きらりが出店

清水エスパルスホーム戦でPR活動



清水エスパルスのホームグラウンド「IAIスタジアム日本平」で8月11日、JAや地元農産物のPR活動を行いました。清水の農産物をPRする「CWOユニット」やミカンキャラクター「かんたくん」がハーフタイムにピッチを一周。会場入口付近では「清水のミカン」「清水に集まれ」の音楽にのせたダンスパフォーマンスを披露しました。

アンテナショップきらりは、茶ボトル缶の「濃旨」の試飲や、オリジナル商品を販売しました。アンテナショップきらりの望月保秀さんは「こだわりのお茶を県内外の多くの人に飲んでもらうことができた。これを機にJAやアンテナショップきらりを知ってもらえたら嬉しい」と話しました。



▲ハーフタイムにピッチを1周してPRするCWOメンバー



▲当日の観客動員数は約18,000人



▲多くの人で賑わったきらりの特設ブース



▲パネルを掲示するかんたくんとCWOメンバー

地域との交流深める

由比支店でグラウンドゴルフ大会



▲地域住民やJA職員が参加したグラウンドゴルフ大会

JA由比支店は8月23日、「第7回JAしみず由比支店グラウンドゴルフ大会」を由比川河川敷で開催しました。由比グラウンドゴルフ愛好会のメンバーや由比支店の職員など計22人が参加。参加者全員に記念品を用意し、成績上位者にはトロフィーや農産物をはじめとした景品を贈呈しました。

由比支店ではこのほかに、輪投げ大会なども開催しており、地域住民との交流を深めようと積極的な取り組みを行っています。

夏休みに親子で花育

フラワーアレンジメント教室



JAしみず洋花部会は8月3日、17日、24日の3日間、集出荷センターで親子フラワーアレンジメント体験教室を開きました。参加した親子は、ガーベラやバラ、オンシジウムなど、地元で栽培する洋花を使い、夏休みの思い出になる作品づくりに挑戦しました。

JA職員から上手な茎の切り方や大きさのバランスなどのアドバイスを受け、使用する花を自分で選び、自由な発想で個性あふれるフラワーアレンジメント作りを楽しんでいました。



フラワーアレンジメントを楽しむ親子



地域団体と連携

庵原支店でそばの種まき

JAしみず庵原支店は8月18日、1地域1協同活動の一環として、地域ボランティア団体のフォーラム庵原と連携し、そばの種まきを行いました。フォーラム庵原のメンバーと支店職員17人が参加しました。

園地は庵原地区の富士山や清水港が一望できる約18aの畑。フォーラムの指導を受けながら畝を掘り、そばの種をまきました。約50kgの収穫を見込んでおり、12月には、一般に参加者を募集し、地元公民館でそば打ち体験と試食会を行う予定。庵原支店の伊藤雅昭支店長は「地域の方に喜んでいただけるイベントになれば嬉しい」と話していました。



▲そばの種まきを行うJA職員



▲多くの家族連れでにぎわった「夏フェスINきらり」

家族連れでにぎわうイベント

アンテナショップきらりで夏フェス開催



アンテナショップきらりは8月25日、夏のイベント「夏フェスINきらり」を開催しました。会場内ではTEA豚を使ったバーベキューや、折戸なすの試食販売、スイカ割りなどさまざまな催しが行われ、多くの家族連れでにぎわっていました。

10月14日には秋のイベントとして、新米をはじめギンナン、極早生ミカン、シイタケなど、清水の秋の旬を味わえる「秋の味覚祭」を開催する予定です。

住みやすい街づくりを目指して

静岡市長とJA常勤役員らが意見交換

清水区をより住みやすい街にしようと8月20日、「静岡市長と清水を語る会」をJA本店で開き、田辺信宏静岡市長や市経済局の関係者、JA常勤役員や理事、青壮年部、女性部、地元の土地改良区関係者など計23人が参加しました。

禁止されている野焼きも、農業等を営む上で枝などの廃棄物搬出が困難な場合は例外があることを、地域住民に周知することや、清水港の農水産物輸出拠点整備、耕作放棄地対策や三保・折戸・駒越など南部地域の営農振興などのテーマで活発な意見交換が行われました。



▲活発な意見交換が行われた「静岡市長と清水を語る会」

JAグループが交通安全誓う

清水署に交通安全宣言書を提出

清水区内のJAグループは8月29日、秋の交通安全運動(9月20日～30日)に合わせて、従業員とその家族が署名した交通安全宣言書を清水署に提出しました。

当JAのほか、清水厚生病院、介護老人保健施設きよみの里、(株)ジェイエイしみずサービス、静岡ジェイエイフーズ(株)の代表者5人が同署を訪れ、源波真署長に1,223世帯、3,242人が署名した宣言書を手渡し、交通安全を誓いました。



▲宣言書を提出する柴田篤郎組合長

育ててみよう♪

家庭菜園

葉ダイコンを育てる。



特性とポイント

日当たりが良く、風通しの良い畑に向いています。厳寒期を除き、数回に分けて種まき時期をずらせば、ほぼ1年中栽培できます。

種は厚まきで、ばらまきするのが一般的です。覆土はなるべく薄くしましょん。

作付け10~15日前に、完熟堆肥、有機化成10号を施し、15~20cmくらいの深さに耕す。

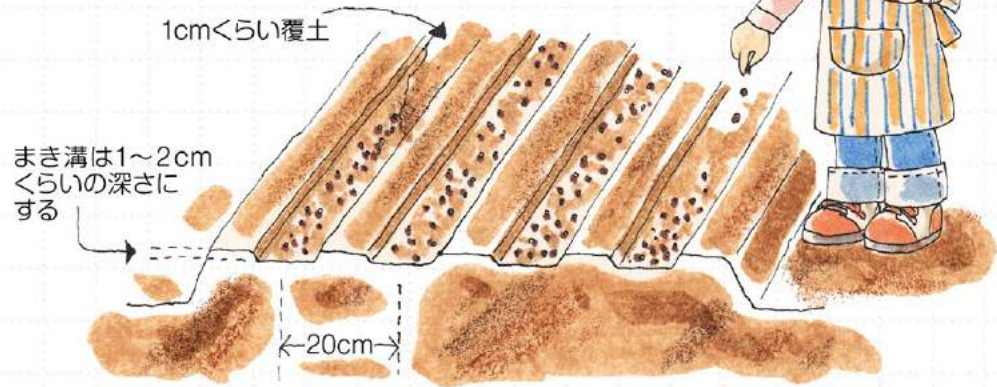


1 畑の準備

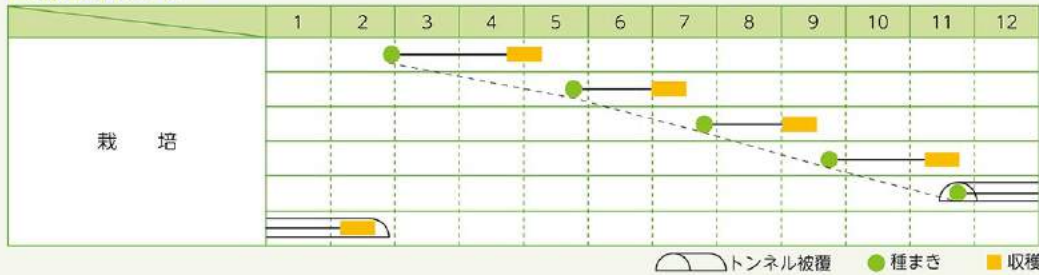
畑が空き次第、苦土石灰を施し、よく耕しておくこと。

2 種まき

畝は平畝とし、表面を平らにならしてから、約20cm幅の条にばらまいていく。



栽培カレンダー



グリーンセンター直売

2017年10月の売上ランキング

1位	温州ミカン
2位	菊
3位	サトイモ
4位	柿
5位	ショウガ



集出荷センター
054-367-6111

3 間引き

発芽したら密生している部分を間引きする。さらに本葉3~4枚のころに、2回目の間引きをする。本葉5~6枚で1本立ちにさせる。

第1回間引き

一度に間引きをしすぎないようにし、あくまで接近しすぎたものを間引く。



第2回間引き

2回目の間引きで株間15~20cmとする。徒長したものや、わい性の苗を間引くようにする。



5 収穫

厳寒期を除いて、ほぼ1年中栽培、収穫できる。25~30cmに伸長した時が収穫時期。



根元から引き抜く

夏場は種まき後、約20日。冬場は40~50日で収穫できる。成熟したミニダイコンは酢漬けなどにすれば、風味もありおいしく食べる事ができる。

4 中耕・追肥

間引きごとに有機化成10号を追肥した後に軽く中耕し、土を株元に寄せる。



有機化成10号

葉が茂り、アブラムシが付くようなら防除を行う。収穫までの栽培期間が短いので、農薬の使用時期には注意する。

■施肥例

施肥量：1坪あたり

種類	施肥量	備考	
元肥	苦土石灰	300g	作付け20日以上前に施用
	完熟堆肥	3kg	
	有機化成10号	200g	
追肥	有機化成10号	100g	夏季は不要

■病害虫防除

10/1坪あたり

対象病害虫	薬剤名	希釈倍率	使用時期	使用回数
白さび病、軟腐病	コサイド3000	1,000~2,000倍	---	---
アオムシ・コナガ ヨトウムシ	プレバソンフロアブル5	2,000倍	収穫前日まで	3回以内
アブラムシ類	エコピタ液剤	100倍	収穫前日まで	---

※ 上記の肥料・農薬は、JAグリーンセンターでお買い求めいただけます。 ※ 農薬は、ラベルに記載された安全使用基準を守って使用しましょう。

【ご注意ください】 毒物、劇物に指定されている農薬は、購入の際に印鑑が必要です。



11月の営農ワンポイント

茶

茶樹はこれからの季節、夏から秋にかけて葉の光合成によって作られた栄養分を茎や根に転流貯蔵するとともに、耐寒性を増していきます。来春に向け寒害対策と越冬害虫の防除を適宜実施しましょう。

寒風害対策



冬の季節風が強く当たる茶園や、標高が高い茶園、冷気が溜まりやすい園地では被害が発生しやすいので、下記を参考に寒風害対策を実施してください。

- 防風垣の設置** 防風垣の設置は、茶樹に当たる風を弱める効果があるため、寒干害や寒風害の防止効果があります。
 防風ネットを設置する場合には、通風率50%程度の網目(4~6mm)を使用し、主風向に対してできるだけ直角に設置してください。
 また、幼木園については、ソルゴー等の冬作物を畝間に作付けして、寒風が当たらないようにする寒風害対策もあります。

- 敷き草の施用** 畝間に敷き草をすることで、地温の調節や土壌凍結・乾燥を抑制する働きが期待できます。

- 成木園** 有機物の投入により土壌の物理性の改善にもつながりますので、畝間全面に施用するようにしてください。
- 幼木園** 畝間全面に敷き草を敷くと、地面からの放射熱が利用できず、逆に冷気が溜まり寒害を受けてしまう恐れがありますので、株元に寄せて敷き草を行ってください。
※投入量の目安は、10aあたり800~1,000kgです。

- 裾刈り** ダニやチャトゲコナジラミの越冬場所は、裾部の葉裏です。秋整枝前の裾刈り時期が早く、裾部が再度開葉すると害虫の巣となりますので、再開葉した葉を落とす程度に裾刈りを実施しましょう。

- 防除** 春先のダニを予防するためには、越冬ダニの防除が重要です。多発すると薬剤の効果が著しく低下してしまうので、ダニの発生を確認次第直ちに防除を実施してください。
 裾部の葉裏にも、確実に薬剤が行き渡るように散布を行ってください。

表① 11月の茶園防除(茶)

時期	病害虫	薬剤名	希釈倍率	日数	回数	対象効果
秋整枝後 10月下旬~11月上旬	カンザワハダニ チャトゲコナジラミ	アタックオイル ※単用散布	100倍	28日	-	幼虫 成虫

※ 赤焼病の発生が心配される園では、アタックオイル散布の1週間前にコサイド3000・1,000倍(14日)を散布する。

- チャトゲコナジラミについて** チャトゲコナジラミの防除については、表①を参考に、アタックオイルの単用散布による防除を行ってください。ただし、極寒期(12月~2月中旬)におけるマシン油防除は、赤焼病の発生を助長する恐れがありますので避けてください。なお、赤焼病の発生が心配される園では、アタックオイル散布の1週間前にコサイド3000・1,000倍(14日)を散布してください。
 また、大量発生が確認された園については、あわせて春先(一番茶萌芽前~3月上旬)にダニゲッターフロアブル2,000倍(7日~1回)を散布してください。





柑橘

●病害虫防除

表①を参考に防除してください。早生、青島温州は収穫時期となります。散布薬剤は収穫前日数に注意してください。

表① 病害虫防除（柑橘）

品目	散布時期	対象病害虫	薬剤名	希釈倍率	使用基準※1	茶登録
青島温州	11月中下旬	貯蔵病害	ベンレート水和剤	4,000倍	前日-4回	○
			ペフラン液剤25(劇)	2,000倍	前日-3回	×
中晩柑 (ポンカン)	収穫前	貯蔵病害	ベンレート水和剤	4,000倍	前日-2回	○
			ペフラン液剤25(劇)	2,000倍	前日-2回	×

※1 使用基準は「収穫前日数-散布回数」をあらわします。

～その他注意点～・ミカンハダニ発生園ではダニゲッターフロアブル2,000倍(前日-1回)を散布する。

●管理作業

粗皮果、軸太果、著しい外観不良果は収穫直前まで何度も園地を見回って樹上選果してください。秋肥は着果で収奪された養分の補給と耐寒性の向上、翌年の発芽や花芽分化の促進のために施用します。表②を参考に即効性の高い化成肥料を施用し、地温低下前に吸収させることがポイントです。

表② 施肥（柑橘）

10aあたり

品目	施用時期	肥料名	施用量
極早生	収穫後	かんたくんBB	3袋
早生温州	11月上旬		
青島温州	11月中下旬		
太田ポンカン	11月上旬		2袋
はるみ・不知火・清見	11月上旬		
甘夏・スルガエレガント	11月上旬		

落葉果樹

●病害虫防除

キウイフルーツは収穫前日数に注意し、貯蔵病害予防に努めてください。

表③ 病害虫防除（落葉果樹）

静岡県落葉果樹振興協会発行栽培暦より抜粋

品目	散布時期	対象病害虫	薬剤名	希釈倍率	使用基準※1
キウイフルーツ (ハイワード)	11月上旬	貯蔵病害(灰色かび病)	スミブレンド水和剤 または、ストロビードライフフロアブル	2,000倍	前日-4日 前日-3日
	収穫直後	かいよう病	コサイド3000	2,000倍	収穫後～ 果実肥大期まで

※1 使用基準は「収穫前日数-散布回数」をあらわします。

●管理作業

梨は、表④を参考に元肥を施用してください。キウイフルーツ(ハイワード)の収穫適期はおおむね11月中旬で糖度7度以上です。落葉果樹は12月にかけて落葉期となります。落ちた葉は翌年の各種病害の発生要因となるため、園外へ持ち出し、処分してください。

表④ 施肥（落葉果樹）

10aあたり

品目	施用時期	肥料名	施用量
梨	10月下旬～11月上旬	梨配合1号	10袋



落葉果樹(イチジクを除く)は苗木の植え付け時期となります。適地適作を考慮のうえ、植栽してください。

健全な生育を促すため、以下の点に気をつけてください。

① 植え付け前の土づくり

苦土石灰・溶りん・堆肥などを土と混和し、土づくりをしてください。

② 植え付け時

購入した苗木は根を乾かさないように保管し、できるだけ早く植え付け作業を行なってください。根と土の間に隙間を作らないようにしてください。接木部分に土が被さると自根が出やすくなるため、深植えしないようにしてください。

③ 植え付け後の管理

植え付け後、根が活着するまでは、敷き藁とともに定期的なかん水を実施し、乾燥に十分注意してください。苗木先端の切り返しは2月中旬を目安に行ってください。



施設作物

● 省エネ対策と温度管理について



11月は本格的な加温時期となります。この時期に、省エネ対策として有効でありながら実行率が低いと思われる温度管理について紹介します。

- ① サーモは設定どおり正確に作動しているか、作物の下限温度以下になっていないか、温度計で測定して確認する。
- ② サーモの位置は、作物の高さ(生長点の位置)とし、施設内で一番冷える箇所を目安に設置する。
- ③ 必ず施設内の温度を点検し、温度ムラがある場合は温風の偏りを是正するなど改善を行い、できる限り温度の均一化を図る。
- ④ 保温資材の破損している部分は、補修テープ等で修繕する。
適切な温度管理ができていないと、作物の生育を悪化させる場合もありますので、省エネ対策も含め、必ず実行することをお勧めします。

花卉

● 千両の出荷準備



千両は11月上旬より収穫に入り、12月中旬の千両市に向けて出荷の準備が始まります。千両市は、各市場とも年に一度しか開かれないため、例年この時期に出荷作業が集中します。そのため、早い段階から収穫と選花作業を順次進めておくことが重要です。

10月下旬になると早生系の品種は実が赤く熟してきますので、収穫を始めます。収穫は切れ味の良い剪定バサミを使用し、切口から株への病害の感染を防ぐため地際から3~5cmほど上の位置で行います。収穫後は、下葉や不要な枝を整理し、階級別に束ねてから十分に水揚げします。水揚げの際、鮮度保持剤(クリザールバラ)の使用を推奨します。これは、バクテリアの増殖を抑え、水腐りを防ぐことから、水換えの手間を省くことができます。

イチゴ



● ビニール被覆後の管理

11月から12月にかけては、日照時間が短くなり気温も低下してくるため、生育の環境条件としては厳しい時期となります。この時期に、樹勢を落とさないよう管理することが今後の収量に大きく影響しますので、注意してください。また、交配用ミツバチが入蜂後、しっかりと訪花しているか確認をしましょう。

● 保温管理

最低夜温が、紅ほっぺは10℃、きらび香では12℃を下回りはじめたら暖房を行いましょ。収穫時の草丈は30~35cm、展開葉数7~8枚を目安とし、生育が劣っている場合は早めに保温を開始します。日中の低温は生育停滞や樹勢低下を招き、収量低下・奇形果発生を助長します。特に、午前中はやや高め(26~28℃)の温度管理(26~28℃)に心掛け、光合成を促進させます。

● 病虫害防除

頂花房にうどんこ病が発生し、減収となるケースが見受けられます。一度発病すると防除が困難であり、株に発病が見られない場合でも直接果実が発生することがあります。定植後は定期的なローテーション防除を行いましょ。

● 芽の整理と摘果

芽の整理については、紅ほっぺやきらび香ではほとんど必要ありません。樹勢を見ながら紅ほっぺは8~12果、きらび香は7~10果を目安に摘果し、大玉階級の発生を促しましょ。連続して花房が出た場合は芯止まりの可能性があるので、株の状態を確認し、必要に応じて補植してください。

● 親株確保

親株は毎年購入することをお勧めしますが、余剰となった定植苗や、秋に発生するランナーをポット受けし、来春の親株として利用することもできます。ただし、炭そ病が発生した場合は親株として使用せず、別の苗を入手してください。春のランナー発生を多くするため、採苗した苗は十分低温にあてます。また、低窒素状態が続くと春先のランナー発生が抑えられてしまうため、月に一度IB化成S1(1~2粒/株)を施用し、肥料切れを起こさないよう管理しましょ。



レシピ



しいたけパスタ

~切り方を工夫して2つの味わいを楽しむ~

材料 2人分

シイタケ……………8個

A トッピング用

赤ワイン……………100ml
ニンニク……………1かけ
黒粒コショウ……………小さじ1杯
赤みそ……………大さじ2杯
ハチミツ……………大さじ2杯

B パスタソース

オリーブオイル……………大さじ1杯
ニンニク……………1かけ
しょうゆ……………小さじ1杯
生クリーム(動物性、脂肪分35%程度)
……………100ml
スモークチーズ……………30g
粉チーズ……………大さじ3杯(25g)
コショウ……………少々

ショートパスタ(フジッリ)……………140g
粗塩……………適量

葉ネギ(小口切り)……………大さじ2杯
クルミ……………2かけ

作り方

1. 下準備

- シイタケは濡らしたフキンまたはキッチンペーパーで軽くふき、石づきをとって軸と筥にわける。
トッピング用の4個分は、筥を十字に4等分、軸は1cm幅に輪切りにする。
パスタ用ソースの4個分は、筥をできるだけ薄くスライス、軸は手で縦に裂いておく。
- ニンニクはトッピング用、パスタソース用とも縦半分に切って芽をとり、軽くたたいてつぶす。
- スモークチーズは8mm角程度に切る。葉ネギは小口切り、クルミは軽く炒ってさまし粗く砕いておく。

2. トッピングを作る

小鍋に赤ワイン、ニンニク1かけ分、黒粒コショウ(丸のまま使用)を入れ、中火で軽く沸騰させる。
火を止め、赤みそとハチミツを加え溶かす。
トッピング用のシイタケを加えて再び火をつけ、弱めの中火で10分ほど静かに煮る。
冷まして味を含ませる。

3. パスタソースを作る

冷たいままのフライパンにオリーブオイルとニンニク1かけ分をいれて、ニンニクの芳ばしい香りがたつまで弱火で加熱したあと、ニンニクを取り出し火を止める。
パスタ用のシイタケをフライパン全体に広げたら、強火にして触らずにしっかり焼く。濃いきつね色になり、香りがたったら裏返して同様に焼く。
火を止めてシイタケを片寄せ、空いたスペースにしょうゆを垂らして、泡が立ったらすぐに絡める。
生クリームとスモークチーズを加えて再び弱火にし、静かに混ぜながら、煮立つまで加熱する。粉チーズを加え混ぜ、火を止めてコショウを軽く振る。(※必要に応じて塩で味を調える)

4. パスタをゆでる&盛り付け

熱湯を沸かし、ひと握りの粗塩を加え、ショートパスタを袋の表示通りにゆでる。ゆであがる直前に(3)のソースを温めはじめ、パスタの水気を切って加え手早くあえる。
皿にパスタを盛り、(2)のトッピングをのせ、葉ネギとクルミを散らしてできあがり。

旬と季節のまめ知識



遠山 由美

野菜ソムリエ上級プロ
NR、食育プロデューサー
他<略歴>

日本初の「シニア野菜ソムリエ」第1号取得者。野菜や果物の魅力を料理、栄養学、食育など多くの手法で伝え、生産者と消費者の掛け橋として、テレビやラジオなど多方面で活躍中。



シイタケ

味噌、醤油、納豆に甘酒と多彩な「菌食」をしてきた日本人ですが「食材丸ごと全部菌」なのはキノコだけです。

1600年代、原木を傷つけ自然の胞子が付着するのを待つ方法でシイタケの人工栽培に初めて成功したのは伊豆。種菌を植え付ける方法が考案されたのは昭和に入ってからで、1,500種以上もあるキノコ類中、栽培可能なのは20種程度と貴重な存在です。菌ごたえと強い芳香が自慢の「原木栽培」、優しい風味の「菌床栽培」がある清水。上手に使い分け美味しく楽しく「菌活」に励みましょう。

協同が輝く時代

組合員・地域住民の皆さまの農業所得向上とくらしの豊かさの実現のため、当JAが取り組む活動を取り上げます。



当JAでは、静岡県立農林大学校の学生さんを就業体験生として受け入れています。

農業の担い手や、農業関連企業への就職を希望している皆さんに、JAの仕事現場を直接体験してもらうことで職業理解を深めてもらっています。

若い皆さんの「力」が、農業の未来、地域農業の発展、そして豊かな地域づくりの支えとなります。今回は就業体験をした皆さんの声をお届けします。

就業体験期間

静岡県立農林大学校 1年生

- ①8月6日(月)～10日(金) 2人
- ②8月20日(月)～24日(金) 3人

◎ JAを視察して

JAが農家の方とつながって作業をしていることは知っていましたが、想像よりも親密な関係だったことに驚きました。また、私たちが日々食事ができる環境にあるのは、農家さんと農家さんを支えるJAがあるおかげだと実感しました。色んな部署を体験することができ学校では学べないことや、初めて知ったことがあり、将来の仕事に生かせることを多く体験できました。



主なカリキュラム

1日目 駒越宮農拠点でエダマメについて学ぶ

1日目

- ・ハウスは日中熱いので作業しないのは驚いた
- ・砂で育てていることに驚いた

2日目 三保宮農拠点で折戸なすやトマトの畑を見学

2日目

- ・個販と共販の違いなど流通についてよくわかった
- ・レッドオーレは水を与えないストレスを加えていないのに糖度が高くなることを知った

3日目 集出荷センターで花の集荷や小松菜の収穫体験ほか

3日目

- ・同じ物を栽培している生産者を集めて意見交換などの作物を発展させる取り組みがあり、JAの大切さがわかった

4日目 柑橘果樹課でミカンについて学ぶ

4日目

- ・選果作業を体験できた
- ・中央卸売市場も見学できて良かった

5日目 広報課の業務体験、基盤整備地視察など

5日目

- ・初めてドローン操作をした
- ・消費者の目にとまるようにいろいろと工夫しているのが分かった

組合員アンケートのお願い

組合員の皆さまの ご意見をお伺いする 取り組み



JAしみずでは、「農家組合員の農業所得の向上」「地域貢献活動」「組合員の願い・思いを受け止める活動」を中心に自己改革に取り組んでいます。より一層、皆さまの期待に応え、魅力ある地域の農業振興や暮らしやすい地域づくりに取り組むJAとなれるよう、組合員の皆さまにご意見を伺う取り組みを実施することとしました。

なお、政府は、2021年3月まで、自己改革の実施状況等を確認することとしており、改革の進展状況によっては、JA事業の分割や准組合員のJA事業利用規制などが検討されることが想定されます。

組合員の皆さまからいただいたご意見が、今後、政府が行う准組合員のJA事業利用規制のあり方などの検討に向けても重要となります。

つきましては、今秋から皆さまのところへ農協職員がお伺いすることがあります。

お忙しいとは存じますが、ご協力をお願い申し上げます。

アンケート実施方法

- 10月から3月までアンケートを実施します
- 回答はマークシート方式（無記名）ですので個人が特定されることはありません
- 調査内容はJAの必要性、満足度、准組合員制度のあり方などについてです
- 原則、役職員が組合員の皆さまのお宅を訪問します
- また、生産部会等の集会で実施方法等を説明させていただく場合もあります

アンケートを装った詐欺が発生する可能性があるので
ご注意ください

- 貯金や財産、借入、銀行口座やクレジットカード等のアンケート項目はありません
- これにより金銭を要求することはありません
- 不審に思われるときは、すぐにJAまでお問い合わせください

組合員アンケートに関するお問合せは、本店総合企画課または最寄の支店まで

本店 総合企画課 TEL:054-367-3298

JA静岡女性組織協議会設立70周年記念

豪華客船「ばしふいっく びいなす」で航く

参加者
大募集!!

九州宮崎クルーズ 4日間

2019年6月11日(火)～6月14日(金)

旅行代金
(おとなおひとり様・税込)

149,000円～559,000円

ステートルーム 3名1室利用

ロイヤルスイートルーム 2名1室利用

JA女性部員とご家族・ご友人の方なら、どなたでもご参加いただけます!

お申し込み締切

2018年11月30日(金)

お申し込み・お問い合わせ

最寄りのJA女性部支部事務局
または営農部営農企画課
(TEL:054-367-3210)

※スケジュール・寄港地・入出港時間・航路・イベント等の内容、日程は諸事情により変更となる場合がございます。
※気象・海象などの条件により、上陸できない場合もございますので、予めご了承ください。
※高、その場合のご旅行代金の減額は致しかねます。
※後日改めて集合・解散地(および時刻)をお知らせ致します。

日次	月日(曜)	スケジュール
1	6/11 (火)	10:00頃/清水港を出航 四国沖を通って宮崎日向市細島港へ 「東国原英夫トークショー」やイベントをお楽しみください。
2	6/12 (水)	10:00頃/細島港入港 貸切バスで宮崎観光をお楽しみください。 17:30頃/細島港出航
3	6/13 (木)	終日瀬戸内海クルーズ 「井上あずみ船上コンサート」やイベントをお楽しみください。
4	6/14 (金)	10:00頃/清水港入港

ツアー5大ポイント

- 1 豪華客船「ばしふいっくびいなす」を女性部で一艦まるごとチャーター
- 2 全行程食事付。船内では、朝食、昼食、夕食はもとより、夜食、ティータイムなど1日最大8食を毎日ご用意
- 3 宮崎では、神話の神々の舞台である高千穂や九州屈指のパワースポットを観光。
- 4 航海中はショーやカルチャー教室など楽しいエンターテインメントが盛りだくさん!
- 5 船内のドレスコードは全日「カジュアル」



2018年度

ミカンオーナー 大募集

締切
間近



港の見える畑でゆったりミカンを収穫しませんか？

ミカン栽培に適した好条件の園地で、おいしいミカンが収穫できる「ミカンオーナー」を募集中！ミカン畑は、お子さんやご年配の方でも作業しやすいように整備されていますので、ゆったり、のんびり、収穫を楽しめます。収穫までの栽培や管理は、園主が行います。収穫したミカンの地方発送も可能です。

園地の場所 静岡市清水区庵原地域
(新東名清水いはらIC周辺)



オーナー期間 ご契約日から収穫終了(お届け)まで。

収 穫 皆さまで収穫をお楽しみください。園主が栽培管理し、契約コースに応じたミカンの樹をご提供します。

募集期間 10月19日(金)まで
※ 定員になり次第、締め切りとさせていただきます。
※ 収穫予定日のうち、一部募集締切日がございます。

料 金 収穫量に応じてコースをお選びください。
20kgコース
早生ミカン・青島ミカン共通 8,000円～

主 催 清水いはらミカンオーナー園主会

お申し込み・お問い合わせ JAしみず農地整備課
(清水いはらミカンオーナー園主会事務局)
TEL 054-367-3214(平日のみ)



<http://www.ja-shimizu.org/information/meeting/>

詳しくはホームページをご覧ください。



FMしみず・マリパルで清水の旬を放送中!



毎週木曜日 12:30～
「JA旬の玉手箱」

ぜひ、お聞き
ください!

パーソナリティー 山下ともち

- 毎週、生産者やJA職員が出演中! 旬の話題をお届けします!
- 抽選で2,500円分のくみあい商品券もプレゼント!



理事会だより | 定例理事会: 8月24日(金)

議 事

- 固定資産の処分について
- 組合員の出資口数減少の申し出について
- 2019年肥料年間特別予約共同購入運動実施要領について
- 理事に対する貸出議案について



皆さんからの投稿大募集!



おたよりはもちろん、短歌、俳句、川柳、絵手紙、イラスト、写真など、読者の皆さんからの投稿をお待ちしています! 郵便番号、住所、氏名(必要な方はペンネーム)、年齢、電話番号、写真には簡単なコメントをお書き添えの上、ご応募ください。採用された方にはお米券を差し上げます。

郵 便 〒424-0192
静岡市清水区庵原町1番地
JAしみず広報課 宛

FAX 054-364-8851

MAIL ja-shimizu@shimizu.ja-shizuoka.or.jp

携帯電話からの
応募はこちら



編集後記

折戸なすは油との相性が抜群。よく見かける料理は煮びたしや天ぷらですが、豚肉と一緒に炒めたり、変わったところでは、ピクルスもお勧めです。先日試しに、生のままスライスしてそのまま食べてみました。りんごのような香りと、ナスらしからぬシャキシャキ感。個人的には、「生」もアリだと思います。(伊藤)

特集で紹介できた活動は、ほんの一部です。当JAでは「1地域1協同活動」と呼ばれる前から、組合員さんと職員が、地域毎に特徴ある活動を行なってきました。今回取材してみて、このような活動は、組合員さんと共にあり、地域に密着した事業を行うJAだからこそできる活動なんだと、あらためて感じました。(蒲生)

今年の夏は猛暑、台風、豪雨等、自然の厳しさを実感した年になりました。特に暑さで食欲が減退していた方も多かったのではないのでしょうか。清水には、今号で紹介している折戸なすをはじめ、ギンナン、お米など、おいしい農産物がたくさんあります。食べ過ぎに注意し、「食欲の秋」を満喫しましょう。(佐藤)

ワッパワッ みずっ子

さあ!運動会がんばるぞ!おーっ!!



前ならえ!
ピッ!



幼稚園は
楽しいヨ!!

絵本も
だ〜い好き



上手に
たいそう
できたよ!!



プールたのし〜い!!



背比べ
何センチに
なったかな?



あはははははッ!!



電車だよ〜っ!!
しゅっ!しゅっ!



みんな
なかよしです!

若竹幼稚園 (清水区蜂ヶ谷)

0~5歳児283人が元気に通う
若竹幼稚園。
自然いっぱいの広い園庭や
体育館で、子どもたちは自分で
工夫しながら、毎日楽しく
のびのびと遊んでいます。

出演募集

このコーナーでは、ご出演いただける清水区内のこども園や保育園、幼稚園を募集しています。詳しくは左記のJA広報課まで!

